

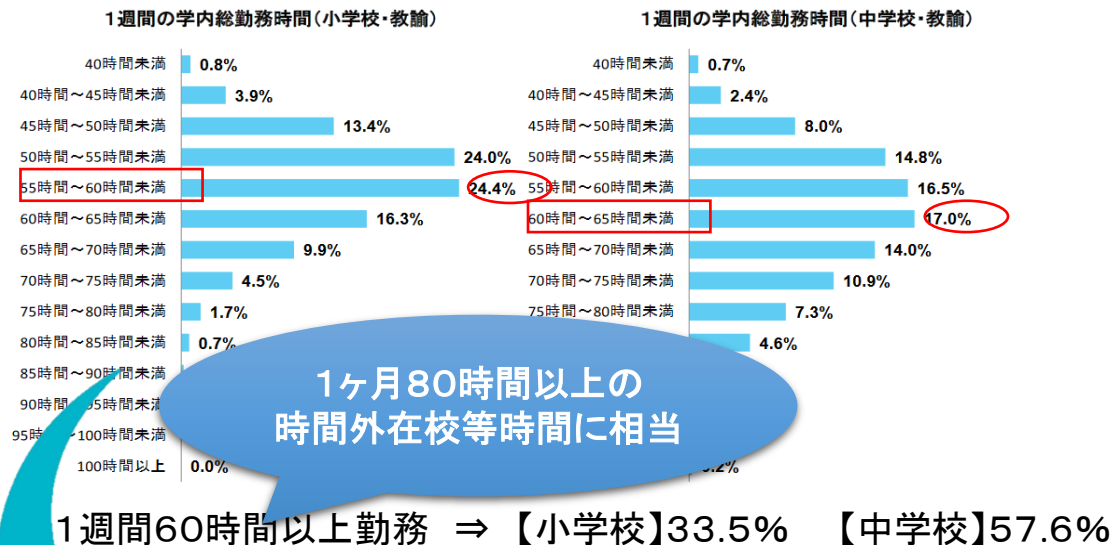
令和4年度  
名寄市教育改善プロジェクト委員会

# 教育経営の充実に関する研究 (働き方改革) グループ

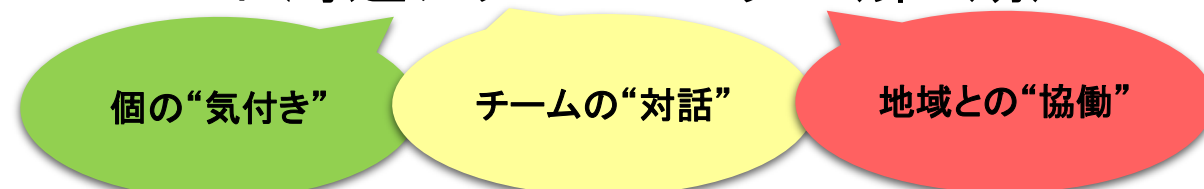
# 教育経営の充実に関する研究（働き方改革）グループ

## 1 学校における働き方改革 これまで…

### H28 教員勤務実態調査



### R3 北海道アクションプラン(第2期)



- ① 在校等時間の客観的な計測・記録と公表
- ② メンタルヘルス対策の推進
- ③ 働き方改革手引き「Road」の積極的活用
- ④ ICTを積極的に活用した業務等の推進
- ⑤ 部活動休養日等の完全実施
- ⑥ 地域との協働による学校を応援・支援する体制づくりの推進

### H30 北海道アクションプラン

**北海道アクション・プランの策定**

- ◆ 道内全ての学校で働き方改革を進めるため、業務改善の方向性を示すもの
- ◆ 平成30年度～32年度を期間として、達成すべき目標を設定

**目標**

1週間当たりの勤務時間が60時間を超える教員を全校種でゼロにする

- Action1 本来担うべき業務に専念できる環境の整備
- Action2 部活動指導に関わる負担の軽減
- Action3 勤務時間を意識した働き方の推進と学校運営体制の充実
- Action4 教育委員会による学校サポート体制の整備

### H29 学校における働き方改革緊急提言

- 1 学校において「勤務時間」を意識した働き方を進めること
- 2 学校・教職員の業務改善の取組を推進すること
- 3 持続可能な勤務環境整備のための支援を充実させること

# 教育経営の充実に関する研究（働き方改革）グループ

## 2 名寄市立学校における働き方改革

### 名寄市働き方改革指標 「Nayoro Star Action」

Nayoro Star  
Action

実践 → 検証 → 改善

令和3年度名寄市教育改善プロジェクト委員会  
「教育経営の充実に関する研究グループ」が  
中心となり作成。

#### Action 1 意識改革及び環境構築

- 出退勤管理による在校時間の客観的計測
- 時間を意識した業務の推進及び諸会議の進行
- 年休・休憩等が取得しやすい職場風土の構築

#### Action 2 業務の見直しとマニュアル化

- 業務処理手順の標準化・定型業務の自動化
- スクラップ&ビルト及び教育内容の質的向上

#### Action 3 ICTの効果的な活用

- タブレット端末を有効活用した単元計画の作成
- 学校評価、各種調査等のICT化
- 教材・教具の整理整頓、デジタル化
- スズキ校務支援システムの活用による情報共有

#### Action 4 地域・関係団体等と連携した 教育活動の推進

- スプレッドシート等を活用した職員間・学校間の情報共有
- 地域・関係団体等と連携した街頭指導等の外部化

#### Action 5 部活動指導の負担軽減（中学校のみ）

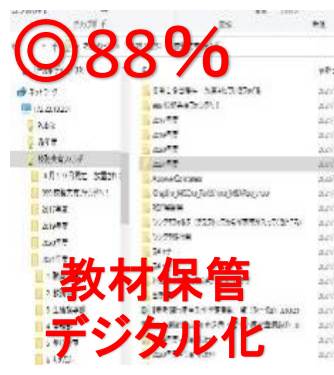
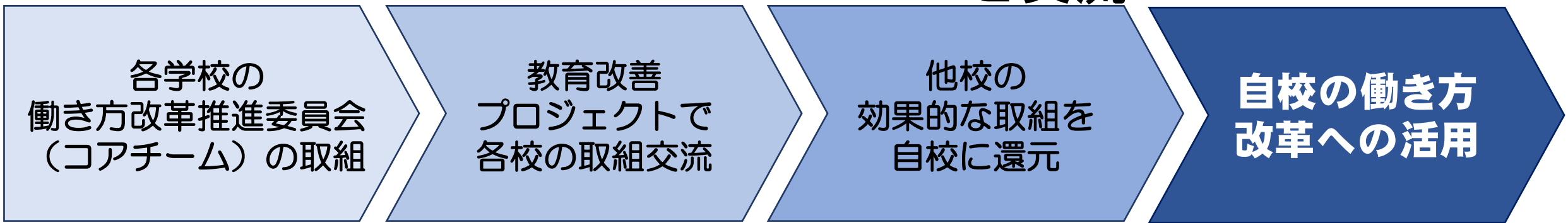
- NAYOROスタイルに基づく地域部活動への移行推進
- 「北海道の部活動の在り方に関する方針」に基づく、適切な活動日数・活動時間の設定

# 教育経営の充実に関する研究（働き方改革）グループ

## 3 今年度の取組【研究項目1】

学校規模に応じた  
働き方改革推進のコアチームを  
中核とした改善プロセスの推進

⇒ 各校での働き方改革を  
に係わる目標達成を  
目指した取組の推進  
と交流



業務改善  
リスト

通知表業  
務の精選

学年通信  
隔週化

業務の  
ICT化

日課の  
工夫

成果の  
可視化



# 教育経営の充実に関する研究（働き方改革）グループ

## 4 今年度の取組【研究項目2】

働き方改革推進モデル校を  
核とした検証改善サイクルの  
確立及び成果の波及

⇒

『Nayoro Star Action』に対する  
意識調査アンケートの  
実施と検証

### 肯定的な回答

【質問1～3】 ⇒ Action1

- 1 在校等勤務時間(在校時間)の短縮に努めている (95%)
- 2 時間を意識した業務の推進・会議の進行 (87%)
- 3 年休・休憩が取得しやすい職場風土 (96%)

【質問9・11】 ⇒ Action3

- 9 学校評価・各種調査のICT化 (96%)
- 10 教材教具の整理整頓・デジタル化 (88%)
- 11 スズキ校務を活用した情報の共有化 (99%)

【質問13及び質問17】 ⇒ Action4・Action5

- 13 Googleアプリを活用した情報共有 (88%)
- 17 部活動の適切な活動日数・活動時間の設定 (97%)

### 課題となる回答

【質問8】 ⇒ Action3

- ・ICT端末を位置付けた指導計画の作成 (76%)

【質問14】 ⇒ Action4

- ・関係団体と連携した街頭指導等の外部化 (65%)

【質問16】 ⇒ Action5

- ・地域部活動(名寄モデル)への移行の取組 (66%)

※( )内は肯定的回答の割合

働き方改革が進んでいるという実感は？

ある 74% ない 25%

# 教育経営の充実に関する研究（働き方改革）グループ

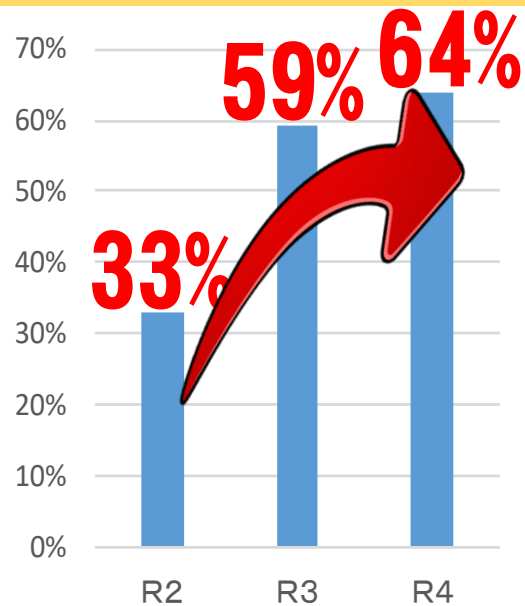
## 5 今年度の取組【研究項目3】

名寄市立小中学校  
働き方改革推進会議と連携した  
学校における働き方改革の推進

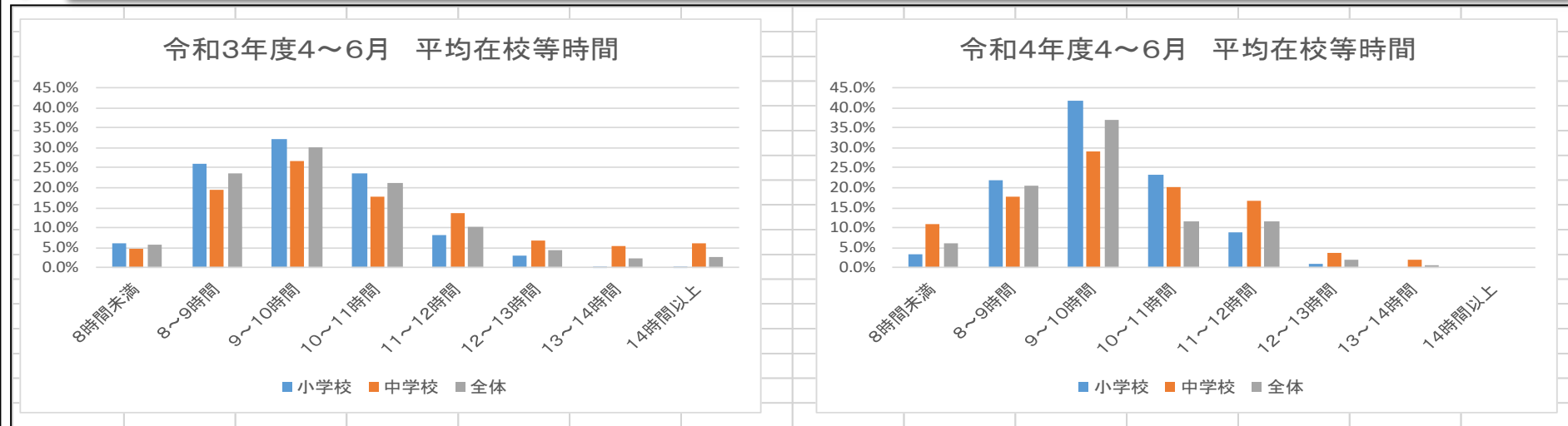
⇒

名寄市働き方改革指標  
『Nayoro Star Action』の  
実践と効果の検証，改善

平均在校等時間  
10時間以下の推移



1日の平均在校等時間10時間以下⇒⇒1か月の時間外在校等時間45分時間以内



☆在校等時間調査の結果から，1か月の時間外在校等時間が45時間以内の割合は確実に高まっている。

▼小学校と比較し，中学校の時間外在校等時間の短縮は大きく改善してはいない。

# 教育経営の充実に関する研究（働き方改革）グループ

## 6 成果と課題（次年度に向けて）

### 改革の目的

これまでの働き方を見直し、  
自らの人間性や創造性を高め、  
子どもたちに対して効果的な教育活動を行う。

### 目的の再確認 職員の共通理解

### 改革の目標

「時間外在校等時間」を  
1か月で45時間（1日2時間15分）以内、  
1年間で360時間以内とする。

#### コアチームの活性化

- ・全職員での取組
- ・勤務時間の可視化
- ・自分事としての関わり
- ・目的・目標の理解

実感の伴う改革を

#### 業務改善リスト

- ・通信の発行回数
- ・ICTの有効活用
  - ・部活動改革
- ・地域・関係団体との連携
- ・日課の工夫

まずはできることから

#### 次年度への反映

- ・一人一人の実態把握
  - ・各校の情報
  - ・効果的な実践
  - ・新たな改善案

一層推進していく

# 教育経営の充実に関する研究（働き方改革）グループ

## 7 成果と課題（終わりに）

### 【成果】

- ◎各校のコアチーム（働き方改革推進委員会等）の取組を交流することで、他校のアイデアや実践を自校の実践に活かそうとする姿勢が見られた。
- ◎「Nayoro Star Action 実施状況アンケート」の結果から、教員の働き方改革及び勤務時間に対する意識が高まっている。
- ◎在校等時間調査の結果から、小学校における時間外在校等時間は昨年度と比較して短くなっていることが確認された。

### 【課題(次年度に向けて)】

- ▲「働き方改革」の意義や目的を全職員が共通理解するために、名寄市働き方改革指標「Nayoro Star Action」を各校で確実に実践し、その取組の成果と課題を確認しながら改善を図っていく必要がある。
- ▲働き方改革の目標を全職員で共有し、目標達成を目指した取組を促進するとともに、名寄市教育改善プロジェクト委員会との連携を深め、有効的な方策について取り入れていく必要がある。
- ▲名寄市働き方改革指標「Nayoro Star Action」を教職員全体で共有するとともに、その実施状況について、在校時間、職員一人一人の意識について継続的に調査を行う必要がある
- ▲中学校については、昨年度の在校時間調査の結果と大きな差は見られないことから、部活動改革を含む今後の取組の方向を明確にしていく必要がある。

**効果的で質の高い教育活動の持続的な促進!!**

**日々の生活の質や教職人生を豊かに!!**



**7時めし!!**